

東京都立大学 法科大学院

2026年度入学者選抜試験問題 出題趣旨（3年履修課程）

小論文

東京都立大学法科大学院では、複雑な社会現象に高い関心を示し、それを的確に把握したうえで分析・判断するための論理的思考力を有するとともに、それを的確に表現することができる学生を求めている。

2025年（2026年度入試）に実施した法学者未修選抜では、山田圭一『フェイクニュースを哲学する——何を信じるべきか』（岩波新書、2024年）20頁～47頁を素材とした。受験者には、「還元主義」「非還元主義」「一致条件」「誠実性条件」「能力条件」の用語を用い、各用語の内容を記述しつつ、「インターネットを活用する知的な勇気」に関する著者の考えを問い、それらにかかる整理や分析を時間・分量の制約の中で過不足なく表現することができるかを問うた。

以上